

十和田市はニンニクの生産量日本一!

「十和田にんにくの日」イベントを開催します

当日
1日駅長として
ご案内します!

とわだ産品
PRキャラクター
十和田にんにく



問とわだ産品販売戦略課 ☎51-6743

市がニンニクの生産量日本一であることを市民の皆さんに広くお知らせし、ニンニクへの愛着を深めていただくため、10月29日を「十和田にんにくの日」とし、イベントを開催します。ぜひご来場ください。

10/29日

午前10時～午後3時

道の駅とわだ

イベント内容

ニンニク入りガーリックポーク豚汁
無料振る舞い ※各回250食、整理券配布あり

整理券配布時間 ①午前10時～ ②午後1時～
豚汁提供時間 ①午前10時30分～11時30分
②午後1時30分～2時30分

ニンニクの無料つかみ取り

開始時間 正午 ※無くなり次第終了

にんにくマルシェ

ニンニク関連商品の販売



Part12

北里大学獣医学部動物資源科学科「動物飼育管理学研究室」です!

問北里大学獣医学部北里会執行委員会情報局 ☎23-4371

動物飼育管理学研究室では、畜産農家が動物を効率よく生産するための飼育管理技術など、さまざまな研究に取り組んでいます。今回は、研究室での取り組みの一部を紹介します。

1 牛の繁殖成績(受胎率)を改善するための最適な栄養状態を明らかにする研究



多くの繁殖雌牛から採血をし、牛の太り具合・血液成分と受胎率との関係について、さまざまなツールを活用して解析しています。

2 効果的な暑熱対策の研究



ホルスタイン種乳用牛は暑さに弱いため、暑熱対策は重要な課題です。研究室と雪印メグミルク株式会社酪農総合研究所と共同で、効果的な暑熱対策を確立することを目的とした研究を行っています。

3 新しいスマート畜産技術の開発研究



画像認識技術とAIを活用して開発した「牛わか(分娩監視システム)」は、研究成果をもとに令和3年7月に実用化されました。「牛わか」は市内の畜産農家でも導入されています。

現在は、放牧地の飼養管理技術の効率化を目的として、田代牧野畜産農業協同組合の協力を得ながら研究を進めています。

研究室から、市民の皆さんへ

市内の畜産農家の皆さんには、研究場所の提供や採材で大変お世話になっています。生産現場での活動は、キャンパス内で多くの時間を過ごす学生にとってこの上ない経験であり、大きな刺激と知識の習得に役立っています。

畜産の盛んな十和田市にある畜産の大学として、さらに地域に根差した活動を展開し、将来はこの経験を糧に、畜産分野で貢献できるような存在になりたいと考えています。

これから

動物飼育管理学研究室を
よろしく願います